

**クルマを超えて、クルマを愉しむ。
Classic Meets Modern and Future
過去から現在、そして未来へ**

AUTOMOBILE COUNCIL は Next Stage に

**2023 年は出展者・展示車両とも過去最大規模の開催
メーカー・インポーターは、9 社が出展。ヘリテージカー販売店は、過去最多の 39 社。
主催者テーマ展示は、ポルシェとフェラーリへのオマージュ
さらに、音楽ライブ、アートも充実**

AUTOMOBILE COUNCIL 実行委員会

4月14日（金）から16日（日）の3日間、千葉県千葉市・幕張メッセで開催する「AUTOMOBILE COUNCIL 2023」は、8回目の開催を迎え、テーマを「Classic Meets Modern（クラシック ミーツ モダン）」から「Classic Meets Modern and Future（クラシック ミーツ モダン アンド フューチャー）」に改め、新たなステージを目指します。

2023 年は、メーカー・インポーター9社、ヘリテージカー販売店は過去最高の9社(2月27日現在)となり、注目の最新 EV（電気自動車）、オートモビルカウンスル初のコンセプトカーの出展に加え、2輪・3輪の出展も決定しました。さらに、SUV&GEAR、自動車関連グッズ（マルシェ）、新進気鋭の art 作品、オートモビルカウンスルならではの音楽ライブなど、“クルマにまつわる愉しさ”を堪能していただく3日間となります。

<1> 出展者情報 第2弾 メーカー・インポーター（含 新世代自動車）9社が出展

ヘリテージカー販売店は、過去最多の39社に。

メーカー・インポーター（含 新世代自動車）では、オートモビルカウンスル初出展となります。三菱自動車工業、BYD Auto Japan はじめ、アルピーヌ・ジャポン、日産自動車、本田技研工業、ポルシェジャパン、マツダ、マセラティジャパン、Stellantis ジャパンの9社が出展します。また、エイムが、次世代を意識した初のコンセプトカー展示を行います。

ヘリテージカー販売店（含 SUV&GEAR）は、過去最多出展の39社（2月27日現在）となっています。このほか、サプライヤー、スポンサー、プレミアムライフスタイル(含アート)、2輪・3輪、マルシェ、オーナーズクラブ合わせて、過去最大規模の96社・団体（2月27日現在）が出展します。※別紙一覧参照。追加出展者は、確定次第お知らせします。

<2> 主催者テーマ展示

1. ～ポルシェ 911 60 周年記念企画～「初期ナローからカレラ GT まで」

生産開始から60年。基本レイアウト、フォルムを変更せず、これほど長生きしたスポーツカーはありません。まさしく奇跡の1台です。ポルシェ技術陣が精魂込めて、磨きに磨き上げた孤高の存在。いつの時代も最新技術を注ぎ込んだスポーツカーのシンボル。その魅力を堪能してください。

※展示車両の詳細・写真は、別紙参照。



Porsche 911 '1966

2. ～エンツォ・フェラーリ生誕125周年企画～「フェラーリ・スペチャーレ」

フェラーリは、スーパースポーツカーの金字塔というべきスペシャルモデルを各時代で産み落とし、唯一無二の存在として頂点に君臨し続けてきました。オートモビルカウンスル2023では、マラネッロの長い歴史の中でも特に魅力際立つモデルを一挙6台展示します。※展示車両の詳細・写真は、別紙参照。



Ferrari 288GTO

<3> 協賛各社・後援団体・オフィシャルメディア情報

「AUTOMOBILE COUNCIL 2023」開催に際し、昨年に引き続きエンケイ株式会社、カーセンサー、横浜ゴム株式会社の3社に加えて、新たに株式会社マツシマホールディングスに協賛いただきます。後援は、経済産業省、日本自動車輸入組合（JAIA）です。オフィシャルメディアは、これまでと同様、J-WAVE、TBS ラジオ、webCG、カーセンサー、CARTOP、Auto Messe Web、Response です。※別紙開催概要参照

<4> MUSIC MEETS CARS

■ プレシャスライブ

4月14日（金）16：30～17：30 至極のピアノの調べ～ファツィオリ ピアノコンサート

世界最高峰シヨパン国際ピアノコンクールにおいて2021年第1位に輝いたイタリアのピアノ「FAZIOLI（ファツィオリ）」の特大コンサート・グランド・ピアノ（F308）が会場に登場。（日本でのF308の納入施設はまだ数少なく、生演奏を体感できる大変貴重な機会になります。）当日は、ピアノに加えてヴァイオリンによるクラシックを中心とした至極の音楽が、特別内覧日の Welcome Party（※詳細は別途後日お知らせします）の空間を彩ります。

出演：モレノ・ブツソレッティ(ピアノ)/ポール・フロレア(ヴァイオリン)

協力：ファツィオリジャパン株式会社 プロデューサー：坂田康太郎



モレノ・ブツソレッティ (左) / ポール・フロレア (右)

4月15日（土）14:00～15:00 60年代はクルマと音楽の黄金時代～ブレッド&バター

1960年代は数々の名車が生まれ、同時にポップスの世界でも数多なスターがエバーグリーンな名曲を生み出した黄金期といえます。ブレッド&バターが、その60年代を代表するビートルズのカバーと珠玉のオリジナル楽曲を心地良いボーカルとハーモニーで皆様語りかけます。

プロデューサー：立川直樹



ブレッド&バター

4月16日（日）13：30～14：30 春の饗宴～渡辺香津美&沖仁>



渡辺香津美
photo: Yosuke Komatsu
(ODD JOB LTD.)



沖仁

イベント最終日となる3日目は、名実ともに日本が世界に誇るトップ・ジャズ・ギタリストの渡辺香津美と世界最高峰のフラメンコ・ギタリストの沖仁のスペシャル・デュオ・ライブをお届けします。

プロデューサー：立川直樹



■ レコードコンサート

ハイクオリティオーディオによるレコードコンサートを実施。移動式の試聴ルームである「Technics Sound Trailer」でもアナログレコードやハイレゾなどの試聴をお楽しみいただけます。

協力：テクニクス

■タイムスケジュールは、次の通りです。

4月14日（金）	14:00～15:00	レコードコンサート	坂田康太郎/選曲・トーク
	16:30～17:30	プレシャスライブ	モレノ・ブツソレッティ/ピアノ ポール・フロレア/ヴァイオリン
4月15日（土）	10:30～11:30	レコードコンサート	立川直樹/選曲（サイモン&ガーファンクル他）
	14:00～15:00	プレシャスライブ	ブレッド&バター
4月16日（日）	16:00～17:00	レコードコンサート	立川直樹/選曲（ビートルズ他）
	10:30～11:30	レコードコンサート	立川直樹/選曲（春の名曲）
	13:30～14:30	プレシャスライブ	渡辺香津美&沖仁/ギター
	15:00～16:00	レコードコンサート	立川直樹/選曲・トーク

※「MUSIC MEETS CARS」は、AUTOMOBILE COUNCIL 2023にご来場いただいた皆様方、どなたでもご覧いただけます。

※出演者・日程は都合により変更・中止になることがございます。その際の入場料の払い戻しはございません（含む前売りチケット）。詳細は、公式ホームページ（URL <https://automobile-council.com>）で事前にご確認ください。

※会場で演奏されるピアノの仕様は、一部変更する場合がございますのでご了承ください。

<AUTOMOBILE COUNCIL 2023 出展一覧>

(2023年2月27日現在 五十音・アルファベット順)
今回のリリースで新たに発表した出展者は、**太字標記**

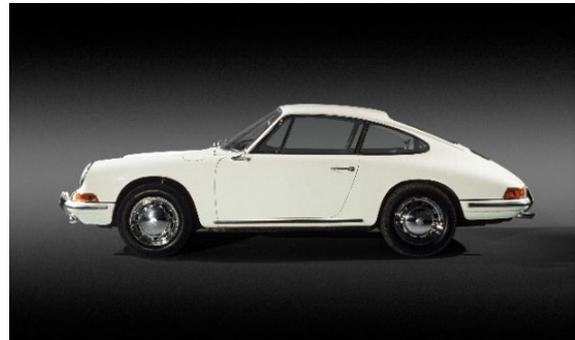
- メーカー・インポーター (9社 含 新世代自動車)
 - ・アルピーヌ・ジャポン株式会社
 - ・日産自動車株式会社
 - ・ボルシェジャパン株式会社
 - ・本田技研工業株式会社
 - ・マセラティジャパン株式会社
 - ・マツダ株式会社
 - ・三菱自動車工業株式会社
 - ・BYD Auto Japan 株式会社
 - ・Stellantis ジャパン株式会社
- サプライヤー (2社)
 - ・日本ハイドロシステム工業株式会社
 - ・日本ミシュランタイヤ株式会社
- プレミアムライフスタイル (13社 含 アート)
 - ・エイム株式会社 (コンセプトカー)
 - ・株式会社コスモ技研
 - ・ファクトリーギア株式会社
 - ・富士モータースポーツフォレスト
 - ・DAYTONA HOUSE×LDK
 - ・THE MAGARIGAWA CLUB
 - ・The Room / FILO
 - ・レントゲン藝術研究所準備室
 - ・AIN SOPH DISPATCH
 - ・art gallery Komori
 - ・H-art Beat Gallery
 - ・LAD GALLERY
 - ・YOD Gallery
- スポンサー (4社 うち出展1社)
 - ・エンケイ株式会社
 - ・カーセンサー
 - ・株式会社マツシマホールディングス (出展)
 - ・横浜ゴム株式会社
- ヘリテージカー販売店 (39社 含 SUV&GEAR)
 - ・ヴィンテージ宮田自動車
 - ・ガレージイガラシ
 - ・ガレージ伊太利屋
 - ・コレツィオーネ
 - ・シルキーシックス
 - ・シルバースター
 - ・ジロン自動車
 - ・スピニングガレージ
 - ・セイコー自動車
 - ・原工房
 - ・プラネックスカーズ
 - ・ホワイトハウス
 - ・ヤナセクラシックカーセンター
 - ・AC MINDS&Co.,
 - ・AUTO ADVISER STUFF
 - ・AUTO ALPHA ONE
 - ・AUTO DIRECT
 - ・Autoneeds
 - ・Auto Roman
 - ・Auto Speciale
 - ・Beck Japan
 - ・Bespoke Automotive
 - ・BESPOKES TOKYO
 - ・BUDDY-AUTO
 - ・CRANK TOKYO
 - ・DUPRO
 - ・HURTAN JAPAN
 - ・Jaguaria /ワイズ
 - ・KOASPEED
 - ・Mars Inc.
 - ・MLA FACTORY SHOP
 - ・MOTOR Logic Company
 - ・RENDEZ-VOUS
 - ・Simple auto
 - ・The ALVIS Car Company
 - ・Vintage Car VISCO
 - ・VW GAKUYA
 - ・WANNA DRIVE
 - ・WINS AUTO
- 2輪・3輪 (1社)
 - ・OA 100 PROJECT
- 自動車関連商品等販売店 (マルシェ) (26社)
 - ・アクティブガレージ
 - ・エクステリア・ガーデンショップ シービーワークス
 - ・オフィス 403
 - ・日下エンジニアリング
 - ・くるま絵商会 Yosio
 - ・くるまのイラスト KEN-1 HAYASHIBE
Car Illustration
 - ・国際貿易
 - ・自動車趣味の店 ロンバルディ
 - ・人気酒造
 - ・三樹書房
 - ・リスロン
 - ・BRITISH LABEL
 - ・CACAZAN
 - ・Carmake Artpro / COLOURLOCK
 - ・CRANK TOKYO
 - ・DEEC
 - ・ELSE DESIGN
 - ・HEART BEAT MOTOR CLUB
 - ・KAMIKAZE COLLECTION
 - ・LE GARAGE
 - ・M2style
 - ・MOTHERS
 - ・Motorimoda
 - ・MP.AOKI
 - ・OT オートモビリア
 - ・Savoia.s.r.l
- オーナーズクラブ (2団体)
 - ・BMW Club Japan
 - ・MASERATI CLUB OF JAPAN

<主催者展示-1 ～ポルシェ911 60周年記念企画～「初期ナローからカレラGTまで」>

生産開始から60年。基本レイアウト、フォルムを変更せず、これほど長生きしたスポーツカーはありません。まさしく奇跡の1台です。ポルシェ技術陣が精魂込めて、磨きに磨き上げた孤高の存在。いつの時代も最新技術を注ぎ込んだスポーツカーのシンボル。その魅力を堪能してください。

・ポルシェ911 '1966

ポルシェ初の生産車である356の後継モデルとして1963年フランクフルトショーでデビュー、翌64年から本格的に生産が始まったのが現在に至るまでスポーツカーのアイコンとして孤高の存在感を誇る911である。今回の展示車はごく初期の66年型。SやT等バリエーションが加わる以前、シングルグレードだった時代のモデルである。2ℓ SOHCフラットシックスが発するパワーは130ps。しかしカミソリのように鋭いレスポンスと、1080kgに過ぎない車重との相乗効果で第一級のスポーツカーとして911神話の序章を開けたのだった。



・ポルシェ911カレラRS2.7

ナローポルシェの掉尾を飾ったのが70年代中盤のGTレース用に開発された“ナナサンカレラ”である。ダグテールのスポイラー、ワイドなリアタイヤをクリアするための明確なオーバーフェンダーが特徴的。2.7ℓまで拡大された空冷フラットシックスのパワーは210psにまで増強されている。それでいて車重は1090kgに留まっているから、その高性能ぶりは推して知るべし。ナローポルシェ随一の戦闘的モデル。ロードゴーイングレーサーとして高い実力と人気を誇る。



・ポルシェ959



80年代半ば、当時考えられる最新技術すべてをつぎ込んで開発したテクノロジーのショーケースが959だった。2.9ℓまで拡大されたフラットシックスはDOHC化され、最大出力は450psに到達。このパワーをフルに引き出すために電子制御トルクスプリットのフルタイム4WDシステムも採用されている。いわばハイテクモンスター。フェラーリ288GTO同様グループB参戦を目指したモデルだが、「危険すぎる」という理由からカテゴリーが消滅し、パリダカやルマン24時間に舞台を替え活躍した。

・ポルシェ・カレラGT



911の文脈からは外れるが、ルマン24時間レースの主役がGTからレーシングスポーツへ移行することを見据え、ポルシェが次期FXとして開発したことから、今回展示ラインナップに加えたのがカレラGTだ。同時期のフェラーリ・エンツォ同様タブもアウトパネルもカーボンファイバー製。インボード・サスペンション含め、そのシャシーはstate of artと呼びたくなるほど美しい。612psを絞り出すミッドシップV10は快音を発することでも有名。ギアボックスは6段MTのみで、発進時のクラッチワークが非常に難しいとされた。

<主催者展示-2 ～エンツォ・フェラーリ生誕125周年企画～「フェラーリ・スペチャーレ」>

フェラーリはスーパースポーツカーの金字塔というべきスペシャルモデルを各時代で産み落とし、唯一無二の存在として頂点に君臨し続けてきました。本年の開催ではマラネッロの長い歴史の中でも特に魅力際立つモデルを一挙6台展示します。

・フェラーリ288GTO

モデル名末尾のOはOmologataの頭文字。すなわちレースカテゴリーの中でも最も過激なモンスターとして知られるグループBレギュレーションに適合させたのが1984年に登場した288GTOである。コクピット背後に縦置きされる2.88ℓ V8ツインターボは406psを発生。ピニンファリーナ・デザインの美しくも精悍なボディを0-400m:12.7秒、最高速:305km/hに導いた。



・フェラーリF40

1987年、フェラーリ創業40周年を記念して開発された過激なミッドエンジン・ピュア・スーパースポーツ。288GTOから受け継いだV8ツインターボは3ℓにスーパードアップされ、出力は478psまで増強された。ターボバンに入った際のパワーは強烈の一言。それを御すにはレーシングドライバー並みのスキルが要求された。カリスマ創業者エンツォが存命中に発売された最後のスペシャールである。



・フェラーリF50



基本コンセプトは路上を走るF1。その基本思想はセンターモノコックがフェラーリ初のフルカーボン・ファイバー製であることから明らかだ。520psを發揮する4.7ℓ V12自然吸気エンジンは、92年型F1のF92Aから流用し、リアバルクヘッドにリジッドマウントされている。プッシュロッド式インボード・サスペンションを採用する等、徹底的に当時のF1テクノロジー導入を図った。

・フェラーリ・エンツォ

フェラーリ中興の祖、ルカ・ディ・モンテゼーモロ時代の2002年に生まれたNA V12ミッドエンジンの傑作。軽量高剛性なカーボンシャシー/ボディに多用するのはF50と同じだが、あまりにスパルタン過ぎた反省から一定の快適性も保たれている。エンツォ用に新開発された65度V12は順次進化を重ね、今も812コンペティツィオーネやプロサングエに搭載される名機。自由自在のハンドリングも大なる魅力だった。



・フェラーリJ50

フェラーリが日本市場進出50周年を記念して、日本市場のためだけに10台のみ製作したのがJ50だ。488スパイダーをベースにフラヴィオ・マンゾーニ率いるデザインチームがオリジナルの新意匠に仕立て直した。ワールドプレミアは2016年12月。しかし現代のSF90や296GTBに連なるフェラーリのデザイン・ランゲージがこのJ50から始まったことが窺える、いわばマイルストーン的モデルである。



・フェラーリ・モンツァSP1



「このモデルが好きなんだ」50年代のレーシングスポーツ、750モンツァの前を通りかかった際、当時フェラーリ会長を務めていたセルジオ・マルキオーネが言い放った一言から生産が決まったのがモンツァSP1である。812スーパーファストをベースにボディを大幅にストリップダウン。エンツォ由来のV12は810psを発生。シングルシーターをSP1、2シーターをSP2と呼ぶ。

< MUSIC MEETS CARS >

■ FAZIOLI ピアノについて

ファツィオリのピアノとは、音楽と科学的知識への情熱、偉大な職人技能、技術的な研究への固い献身、そして厳選された材料—これらがファツィオリのピアノ、完璧主義者のためのピアノを造り出すための必要条件です。伝統の国イタリアで1981年創業。僅か42年で世界のトップに上り詰めた唯一孤高のグランド・ピアノ・メーカー。しっかりとした見事な低音域を持ち、中音域も高音域も全くそれにひけを取らない、上品な音色。リッチでいて、きらびやかで透明感のあるその音色は、バルトロメオ・クリストフォリが考えたイタリア生まれの理想「フォルテ」と「ピアノ」という理想にインスパイアされています。



FAZIOLI

ファツィオリF308

広い場所や、特に大規模なコンサートホールのために設計された最大級のコンサートグランドピアノです。大迫力のパワーと長くなった低音域の弦から生まれる驚愕すべき倍音の芳醇さで、このピアノはまさにステージの花形となります。

■ 出演者プロフィール

モレノ・ブツソレッティ/ピアノ

11歳からイタリアの名門ジョアキーノ・ロッシーニ公立音楽学校で音楽家としての教育を受け、ピアノの学位を取得。15歳からプロの音楽家としての活動を始め、その洗練された技術とパフォーマンスは世界各国で絶賛された。

ポール・フロレア/ヴァイオリン

5歳からルーマニアのヴァイオリンの巨匠ミルセア・コンスタンティネスクのもとでヴァイオリンを学び始め、14歳になるとレギュラーのヴァイオリニストとして全国放送に出演。20歳で国立オーケストラ・ラジオとジョルジュ・エネスク交響楽団に参加。



坂田康太郎/音楽コンサート・プロデューサー



クラシックコンサートや海外のオペラ招聘に携わりながら、企業の芸術、文化メセナ活動や若手芸術家達を支援している。CHANEL Pygmalion Days などの若手アーティストの発掘と育成プロジェクトで多くの実績を上げている。海外有名アーティスト、オペラ歌手、指揮者との交流も多い。わかりやすいオペラ・クラシック音楽解説で各メディアに多数出演。クラシック、オペラサロンを多数実施。CD ライナー等の解説、音楽誌、機内誌、ファッション誌、芸術誌にコラムを執筆。TV 番組制作、広告制作、商品開発も手掛ける。LOHAS Classic CD レーベルプロデューサー。(財)ノブレス・オブ・リージュ教授。ダイナーズクラブアーティストサポートプログラムプロデューサー。WHC 民放番組審議委員。三越伊勢丹『大人のオペラサロン』講師。東京藝術大学ピアノコンクール審査委員。東京藝術大学で毎年講演会を実施。株式会社 CAP 代表取締役社長、『オペラ直前講座』(オペチョコ)編集長

ブレッド&バター



1969年のデビュー以来現在までコンスタントに作品を発表し、心地よいボーカルとハーモニーで多くのファンを魅了し続けている。ライブハウスからホールまでライブ活動も精力的に行い、バンドでの演奏はもとより、ギター1本でのアコースティックライブでも高い評価を得ている。スティービー・ワンダー、井上陽水、松任谷由実など内外のミュージシャンとの交流も広く、日本の音楽シーンの基礎を築いてきた。代表作は「あの頃のまま」「ホテルパシフィック」「湘南ガール」「ピンクシャドウ」「マリエ」「野生の馬」など。2020年10月10日大手町三井ホールで行われた「ブレッド&バター50周年スペシャルコンサート～あの頃のまま～」ではSKYE（林立夫・小原礼・鈴木茂・松任谷正隆）を迎え、好評を博し、2021年5月にはDVDをリリース。発売を記念し、SKYEメンバーと横浜・東京・大阪でツアーを行った。

渡辺香津美/ギター



名実ともに日本が世界に誇るトップ・ジャズ・ギタリスト。17歳で衝撃のアルバムデビュー。驚異の天才ギタリスト出現と騒がれて以来、ジャズフィールドに留まらない「ギターの可能性」を探求し続け今に至る。独自の<カズミサウンド>を創り出すことでも定評がある。'79年、坂本龍一と結成した伝説のオールスターバンド<KYLYN(キリン)>を皮切りに、YMOのワールドツアーへの参加がKAZUMIの名を世界的なものにする。生粋のインプロヴァイザーたる資質を活かし、作・編曲においても独自の世界を構築し、クラシックギター界からの委嘱作品も好評を博す。2021年レコードデビュー50周年を迎え、周年公演を開催。令和四年文化庁長官表彰受賞。洗足学園音楽大学ジャズコース客員教授。photo: Yosuke Komatsu (ODD JOB LTD.)

沖 仁/ギター



幼少の頃より尺八、ピアノ、ドラム、ベースを経て14歳でエレキギターに出会い後にカナダでクラシックギターを学ぶ。フラメンコギターを岡弘祠、伊藤日出夫、セラニート各氏に師事する。その後、日本とスペインを往復し、フラメンコを吸収しながら20代を過ごす。日本フラメンコ協会新人公演にて奨励賞受賞。2006年メジャーデビュー。2010年、スペインのフラメンコギター国際コンクール国際部門で日本人初の優勝。その様子を密着取材したTBS系「情熱大陸」で大きな反響を呼ぶ。フジテレビ系「ヨルタモリ」ではバーの常連客として出演。以降フラメンコギターの教則本を出版、EXILEへのシングル曲提供など、執筆、プロデュース、作曲に力を入れる。ステージ活動は、自身のソロを始め各ジャンルのトップアーティストとのコラボやオーケストラとの共演、バレエ、長唄、能との共演など多岐に渡る。

立川直樹/プロデューサー・ディレクター



70年代の始まりから、メディアの交流をテーマに音楽、映画、美術、舞台など幅広いジャンルで活躍するプロデューサー・ディレクター。分野はロック、ジャズ、クラシック、映画音楽、アート、舞台美術、都市開発と多岐に渡り、音楽評論家・エッセイストとしても独自の視点で人気を集める。『シャングリラの予言』（森永博志と共著）、『ザ・ライナーノーツ』『ラブソディ・イン・ジョン・W・レノン』『音楽の聴き方』など著書多数。

AUTOMOBILE COUNCIL 2023 開催概要

名 称 AUTOMOBILE COUNCIL 2023(オートモビル カウンシル 2023)
テーマ CLASSIC MEETS MODERN AND FUTURE (クラシック ミーツ モダン アンド フューチャー)
会 期 2023年4月14日(金)～4月16日(日)
開催日時 特別内覧日 4月14日(金) 10:00～18:00
(プレスタイム 10:00～12:30 Welcome party time 16:30～18:00)
一般公開日 4月15日(土) 10:00～18:00
4月16日(日) 10:00～17:00
会 場 幕張メッセ (千葉県千葉市美浜区中瀬2-1)
主 催 AUTOMOBILE COUNCIL 実行委員会
協 賛 エンケイ株式会社、株式会社マツシマホールディングス、カーセンサー、横浜ゴム株式会社
オフィシャルラジオ J-WAVE 81.3FM
オフィシャルサポートラジオ TBS ラジオ
オフィシャルWEB webCG、カーセンサー、CAR トップ、Auto Messe Web、Response
後 援 経済産業省、日本自動車輸入組合(申請予定)
特別後援 株式会社カーグラフィック
内 容 1) メーカー/インポーターによる市販車およびそのヘリテージカーの展示
2) 新世代自動車の展示
3) サプライヤー・スポンサーの商品展示およびプレミアムライフスタイル展示(含むアート)
4) ヘリテージカーの展示・販売(含むSUV&GEAR)
5) 自動車関連商品の展示・販売
6) オーナーズクラブのご案内
7) 音楽プログラム 他

チケット情報

券種	入場可能日時	前売り券	当日券
特別内覧日 (3,000枚限定)	4月14日(金) 10:00-18:00	6,500円	7,000円
一般公開日	4月15日(土) 10:00-18:00	4,000円	4,500円
	4月16日(日) 10:00-17:00	3,500円	4,000円
2day チケット	4月15日(土)-16日(日)	7,000円 前売り限定	---
ペアチケット	4月15日(土) 10:00-18:00	7,500円 前売り限定	---
	4月16日(日) 10:00-17:00	6,500円 前売り限定	---
学生チケット	4月15日(土) 10:00-18:00	---	2,000円 当日限定
	4月16日(日) 10:00-17:00	---	2,000円 当日限定

※学生チケット対象者は、中学生、高校生、専門学校生、大学生。

※乳幼児・未就学児・小学生は、1名に限り保護者1名が同伴し入場可(無料)。

1名の保護者が、複数の小学生以下のお子様を同伴することはできません。

保護者の方は、車両等展示品の保全、お子様の安全を確保いただくようご配慮ください。

※入場料は、消費税を含みます。

取扱い：チケットぴあ/ローソンチケット/e+ (イープラス) /CNプレイガイド

一般問合せ AUTOMOBILE COUNCIL 2023 事務局

電話：03-6380-1011 e-mail info@automobile-council.com

URL 公式 Web サイト <https://automobile-council.com/>

facebook <https://www.facebook.com/automobilecouncil/>

Twitter https://twitter.com/Automobile_twit

Instagram <https://www.instagram.com/automobilecouncil/>

YouTube <https://www.youtube.com/channel/UCfWi0bZhSPw7q1muspc0mvA/feat>

報道関係からの問い合わせ先
AUTOMOBILE COUNCIL 2023 広報事務局
Tel : 090-8940-1683
e-mail press@automobile-council.com

一般からの問い合わせ先
AUTOMOBILE COUNCIL 2023 事務局
Tel : 03-6380-1011
e-mail info@automobile-council.com